

心臓財団 季報



公益財団法人

日本心臓財団

〒101-0047 東京都千代田区神田2-7-10 松楠ビル6階

■Tel: 03-5209-0810 ■Fax: 03-5209-0830 ■e-mail: info@jhf.or.jp ■URL: https://www.jhf.or.jp

No.258 MAR.10, 2025

令和6年度第50回日本心臓財団研究奨励 第5回日本心臓財団拡張型心筋症基礎研究助成 助成対象者 発表

日本心臓財団では、循環器領域の研究に携わる少壮研究者を対象に研究助成を実施しています。

本年度は、40歳未満の研究者を対象とする第50回日本心臓財団研究奨励に35名の応募があり、選考の結果、研究奨励10名が選ばれました。

また、拡張型心筋症基礎研究助成(アイ基金)は、拡張型心筋症で亡くなられた患者さんのご遺族よりいただいたご寄附をもとに設立されたもので、病態解明、治療開発に役立つ基礎研究に助成するものです。年齢を問わず募集を行い、今回第5回を行い7名の応募者より2名が選ばれました。

助成対象者の氏名と研究テーマを紹介いたします。

選考委員

(五十音順、敬称略)

委員長	辻田 賢一	熊本大学大学院生命科学研究部循環器内科学 教授
委員	笹野 哲郎	東京科学大学循環器内科学 教授
	武田 憲彦	東京大学大学院医学研究科循環器内科学 教授
	中野 由紀子	広島大学大学院医系科学部循環器内科学 教授
	彦惣 俊吾	奈良県立医科大学循環器内科学 教授
	日比 潔	横浜市立大学医学部循環器内科学 教授
	松村 貴由	自治医科大学分子病態研究センター 教授
	南野 哲男	香川大学医学部循環器・腎臓・脳卒中内科学 教授
	湊谷 謙司	京都大学大学院医学研究科心臓血管外科学 教授
	渡辺 昌文	山形大学医学部内科学第一講座 教授

第50回日本心臓財団研究奨励 対象者 (五十音順・敬称略・奨励金額は各200万円)



秋葉 庸平 (34歳) 慶應義塾大学医学部循環器内科 助教

血管内皮細胞を介した心不全に対する新規治療法開発

心不全患者数は世界的に増加傾向であるがその予後は不良である。現在の心不全に対する薬物療法は主に心筋細胞をターゲットとしているが、心不全の病態には非心筋細胞も重要な役割を果たしていると考えられる。そのため、我々は心臓内の非心筋細胞の中でも最大の細胞数を占める血管内皮細胞をターゲットとした心不全に対する新規治療法を開発することによって、心不全のあらゆる原因や表現型に効果を示す革新的治療法の開発を目指す。



池田 真也 (35歳) 滋賀医科大学薬理学講座 特任助教

がん遺伝子パネル検査によるがん関連血栓症に対する個別化医療の実現を目指す研究

血栓症(通称:エコノミークラス症候群)は血管内に血の塊が生じる病気である。健康な人も罹患するが、がん患者はより高頻度に発症し、死因の第二位は本疾患である。本疾患は血栓症発症を予測できれば、抗凝固薬により予防できる。本研究ではがん遺伝子パネル検査を用い、がんの変異遺伝子を調べ、変異遺伝子により血栓症を予測可能かを調べる。将来的には、既存の血栓症予測ツールと統合し、さらに高精度な予測法の開発・血栓症発症予防法の開発を目指す。

**角田 宇司** (37歳) 国立循環器病研究センター 心臓血管外科部門心臓外科**遺伝子発現に基づく心房リモデリングの推定とメイズ手術成功率の予測**

本研究は、血漿中の遺伝子制御タンパクであるmicro RNA208aの発現量が、心房リモデリングの進行度と関連を有するか、ならびにアブレーション手術の成功率を予測するバイオマーカーと成り得るか、を検証することを目的としています。心臓リモデリングとは、心不全において、病期が進行するとともに心拡大、収縮力の低下、心筋の線維化が起こることを指します。心臓リモデリングは生命予後に関係があり、血液検査により同病態の進行度を把握できるようになることは、心房細動治療の発展に寄与するものと考えられます。

**川端 良** (33歳) 神戸大学医学部附属病院 心臓血管外科学分野 特定助教**細胞を播種した小口径人工血管の研究 -AkaBLIシステムを用いた細胞動態評価-**

従来より開存率向上を目的に、細胞を播種し生きた血管をin vitroで作製する試みがなされてきた。しかし生体に移植後、播種した細胞がどのような挙動を示すかは明らかにされていない。本研究では、赤色発光酵素を遺伝子導入したヒト臍帯静脈内皮細胞を脱細胞化血管へ生着させ、ラットへ移植する。その後、人工生物発光システム(AkaBLI)を用いて移植血管における播種細胞の挙動を明らかにし、細胞生着に重要な細胞の培養条件が評価できれば、今後の小口径人工血管の研究に新たな知見が得られると考える。

**小泉 滋樹** (38歳) 国立循環器病研究センター研究所 リサーチフェロー**圧負荷応答分子Thrombospondin-1の胸部大動脈における細胞特異的な役割の解明**

大動脈瘤・解離は、突如として命を奪われる病気ですが、いつ・どのように発症するかは分かっていません。高血圧が一つの原因とされますが、既存の降圧薬による予防・治療効果は不十分です。Thrombospondin-1は多くの機能を持ち、大動脈疾患に関わる分子です。本研究は、マウス大動脈に圧負荷を加えた際に、この分子がどこで・どのような働きをするのかを解析します。将来、この分子を対象とした治療が大動脈疾患克服の一助となることを目指しています。

**鈴木 孝典** (39歳) 藤田医科大学小児科 特別研究員**小児心筋症の遺伝子型に基づく予後予測モデルの構築**

本研究では、小児心筋症の診断や予後の予測を、遺伝子情報を活用してより正確かつ低侵襲に行うことを目的としています。現在、小児心筋症の診断には負担の大きい検査が必要ですが、本研究では遺伝子解析と機械学習を活用し、病気の進行や治療の必要性を予測するモデルを開発します。これにより、小児心筋症患者の診断を早く、個別に適した治療を提供できる可能性があります。最終的には、遺伝子情報を基にした新しい診断・治療の仕組みを確立し、患者の負担を軽減することを目指します。

**中村 吉秀** (37歳) 山口大学大学院医学系研究科器官病態内科学 助教**リアノジン受容体を分子ターゲットとしたドキシソルピシン心筋症の革新的予防法**

ドキシソルピシンを含むアントラサイクリン系抗がん剤は、多くのがんに対する治療に用いられていますが、その効果の反面、心毒性という重大な副作用があります。本研究では心筋細胞内のカルシウムイオン放出チャネルであるリアノジン受容体に着目し、ドキシソルピシンにより心毒性が起こる機序を明らかにし、またその心毒性を回避しながら治療を継続できる新たな治療戦略の提唱を目指します。

**橋本 昌樹** (33歳) 東京大学医学部附属病院循環器内科 特任臨床医**心臓周囲脂肪組織を介した心不全発症機序の解明**

あらゆる心疾患の終末像である心不全の予後はいまだ不良です。心臓周囲に存在する脂肪組織であるPericardial adipose tissue (PeAT) が心不全発症と関連することが近年の臨床研究で明らかとなってきましたが、その詳細なメカニズムはわかっていません。本研究では心不全モデルマウスを用いて、分子生物学的手法や1細胞トランスクリプトーム解析等のアプローチを駆使し、PeATが心不全発症に関わる分子メカニズムを解明します。本研究が、PeATを標的とした新たな心不全治療薬の開発につながることを期待されます。



濱野 裕章 (38歳) 岡山大学病院薬剤部 講師・副部長

リアルワールドデータを活用したICIs心筋炎予測モデルの国際共同研究

免疫チェックポイント阻害薬(ICIs)はがん治療に革新をもたらしましたが、まれながらも致死的な副作用として心筋炎が発症することがあります。本研究は、日本と米国の膨大な医療データと患者検体を用い、ICIs誘発心筋炎の新たなバイオマーカーを発見し、発症を予測する機械学習モデルを構築することを目指します。これにより、がん治療の安全性向上と副作用リスクの低減が期待され、個別化医療の発展に貢献します。



増山 潔 (38歳) 大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センター 助教

モザイシズム心筋症の心筋細胞レベルでの病態にin vivo心臓イメージング法で迫る

重症心不全を引き起こす心筋症の中にはすべての心筋細胞に異常を認める心筋症だけでなく正常な心筋細胞と異常な心筋細胞が混在するモザイシズム心筋症が存在することが知られています。本研究では遺伝子変異の有無によって心筋細胞が異なる蛍光を発する遺伝子改変マウスをリアルタイムで観察し、モザイシズム心筋症のメカニズムに迫ることを目的としています。今までにはないアプローチの研究であり、難治性心筋症の病態解明に繋がることが期待されます。

第5回日本心臓財団拡張型心筋症基礎研究助成^{アイ}(I基金) 対象者

(五十音順・敬称略・奨励金額は各200万円)



加藤 愛巳 (44歳) 東京大学大学院医学系研究科先端循環器医科学講座 特任助教

拡張型心筋症に対する混合ワクチンの開発

特発性拡張型心筋症は予後不良で、心移植以外の根治療法がほとんどない難病です。これまでの私の研究から、患者ごとに病態制御因子の組み合わせやその効果量が異なることがわかっています。そこで、制御因子をできるだけ多く突き止め、各因子に対するワクチンを組み合わせることで、様々な病態に効果を発揮できる治療法の確立を目指すことといたしました。将来的にはこのワクチンを世界中で利用できる新しい治療戦略として位置付け、拡張型心筋症治療の選択肢を広げたいと考えています。



肥後 修一郎 (49歳) 大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学 講師

心筋細胞介在板障害へ介入する重症心不全精密医療の創出

現在の日本において、心臓移植が必要な重症心不全の原因の多くを難治性心筋症が占めています。遺伝学的解析の進歩に伴い、これら重症心不全の原因に、心筋細胞介在板機能に関わる遺伝子バリエーションが潜在化していることが明らかとなりました。本研究では、疾患iPS細胞由来分化心筋細胞や、遺伝子改変動物モデルを用いて、低分子化合物、核酸医薬、アデノ随伴ウイルスベクターを用いた治療開発を行い、重症心不全精密医療を創出することを目指します。

お知らせ

第89回日本循環器学会学術集会 日本心臓財団シンポジウム
「こうしたらええがね!心臓突然死を減らすための市民教育」

日時: 2025年3月30日(日) 13時50分~15時20分
会場: 第5会場 (パシフィコ横浜 会議センター3F 303)

Keynote Lecture

「AED導入から20年 JCSから始まった取り組み現状・課題・展望」
三田村 秀雄 (日本AED財団)

プログラム

「循環器救急啓発 地域での取り組みの実際と成果」 辻田 賢一 (熊本大学)
「Strategies for Reducing SCD by Raising Public Awareness : A Statement from the Education and Implementation for Cardiac Emergency Committee of the JCS Society」 西山 知佳 (京都大学)
「急性冠症候群の胸部症状と予後に関するレジストリ研究(胸痛レジストリ)の単施設・pilot studyの結果と、多施設研究の展望」 吉村 聡志 (京都大学)
「循環器疾患の性差に関わる教育・啓発」 佐藤 加代子 (東京家政大学)

第50回日本心臓財団「佐藤賞」



受賞者

野村 征太郎

東京大学医学部附属病院
循環器内科
先端循環器医科学講座
特任准教授

日本心臓財団佐藤賞は、当財団の故佐藤喜一郎初代会長を記念して設けられました。近年循環器領域で顕著な業績をあげ、今後もこの分野で中心的な役割を果たすことが期待される50歳未満の研究者1名に贈られるものです。

第50回受賞は研究テーマ「シングルセル解析による循環器精密医療の発展」により東京大学医学部附属病院 循環器内科 先端循環器医科学講座 特任准教授の野村征太郎氏に決定しました。3月29日、第89回日本循環器学会学術集会(会長：室原豊明 名古屋大学 循環器内科学 教授)にて贈呈式が開催され、賞牌ならびに副賞100万円が贈呈されます。

第49回日本心臓財団「草野賞」



受賞者

石山 浩之

国立循環器病センター病院
脳神経内科

日本心臓財団草野賞は、当財団の故草野義一初代理事長を記念して設けられました。この一年間に脳血管障害に関する学術雑誌に掲載された40歳未満の研究者の優秀な論文に対し贈られるものです。第49回受賞は「出血指向型CADASILの提唱：NOTCH3 p.R75P変異による低いNOTCH3凝集特性」という論文のテーマで国立循環器病センター病院 脳神経内科の石山浩之氏に決定いたしました。3月7日、第50回日本脳卒中学会総会(会長：豊田一則 国立循環器病センター 副院長)にて贈呈式が開催され、賞牌ならびに副賞50万円が贈呈される予定です。

日本心臓財団研究褒賞 (2024年度)

日本心臓財団では、循環器病学の進歩に寄与する研究の奨励と、さらに将来の飛躍が期待される若手研究者の育成を目的として、基礎研究1名、臨床研究1名の「日本心臓財団研究褒賞」を設けています。

対象は、日本循環器学会会員で40歳未満の研究者です。書類選考と選考委員による選考委員会によって、本年度は基礎1名、臨床2名の計3名が受賞されました。

昨年度は健康ハート・シンポジウムにて授賞式を行いました。本年は日本循環器学会学術集会会場にて、日本心臓財団研究奨励贈呈式とともに行います。

基礎部門



安達 裕助

東京大学医学部附属病院
循環器内科

動脈硬化における血管炎症制御機構の解明

動脈硬化は、動脈壁が肥厚硬化して弾力性を失う病態であり、心筋梗塞や脳梗塞の原因になります。近年の研究では、コレステロールの蓄積だけでなく、血管内で起こる炎症が病態進行に大きく関与することが分かってきました。本研究では、分子生物学と生物情報学、さらにヒト血管の病理解析を統合し、これまでに明らかにされていなかった炎症制御機構の解明を目指しています。こうした新たな知見により、動脈硬化の進行を抑える新しい治療戦略を確立し、将来的には心筋梗塞や脳梗塞の予防に貢献することを目指します。

臨床部門



樋口 諭

東京女子医科大学 循環器内科
先進電気的心臓制御研究部門
寄附部門 講師頻発する心房性期外収縮に伴う
心房心筋症形成の病態解明

これまで、心房細動を伴わない孤発性の心房性期外収縮(PAC)は、一律に良性の不整脈と考えられてきました。しかし、米国留学中の研究で、頻発するPACが心房心筋症を引き起こし、心房細動の原因となり得ることを動物モデルで証明しました。今後は、臨床研究を軸に多角的なアプローチを展開し、「PAC誘発性心房心筋症」という新たな疾病概念の確立を目指します。最終的には、心房細動の発症予防を目的にPACのリスク層別化と早期介入策の開発に取り組んでまいります。

臨床部門



山下 侑吾

京都大学医学部附属病院
循環器内科大規模臨床研究を通じた循環器疾患の
最適な治療指針の確立を目指す研究

私は日々の診療現場で遭遇する未解決の医学的問題に対して大規模な臨床研究の手法を用いて医学研究を継続しております。疫学研究に加えてランダム化比較介入試験による質の高いエビデンスの導出に尽力し、日本のみならず世界の臨床医に役立つような研究をモットーにして、研究を通して医学に貢献する事を目標としています。今後はさらに、これまでの経験を通して、循環器疾患の領域に個別化医療を実践できる様な次世代の研究を目指しております。

第13回「心臓」賞 受賞者

日本心臓財団・日本循環器学会発行和文投稿誌「心臓」において、2024年の1年間に掲載された論文の中から、編集委員、Advisory Boardの先生方による推薦、選考のもとに、編集委員会にて症例部門、研究部門でそれぞれ最優秀賞と優秀賞を選考し、下記の先生方が選ばれました。

【症例部門】



最優秀賞 (副賞10万円)

児玉 圭太

磐田市立総合病院 循環器内科

生前に診断し得た閉塞性壁内冠動脈アミロイドーシスの1例

Obstructive Intramural Coronary Artery Amyloidosis Diagnosed During in His Lifetime : A Case Report

(心臓 2024;56(3):289-296)



最優秀賞 (副賞10万円)

寺中 若菜

住友病院 循環器内科

ベバシズマブを含む特異的化学療法により予後改善を認めた乳癌由来肺腫瘍血栓性微小血管症の1例

Improvement of Prognosis in a Patient With Pulmonary Tumor Thrombotic Microangiopathy Associated With Breast Cancer After Specific Chemotherapy Including Bevacizumab

(心臓 2024;56(5):472-477)



優秀賞 (副賞5万円)

山科 順裕

仙台市立病院 循環器内科

失神に対してVVIペースキングが対照的な効果を示した房室ブロックを伴う年少アスリート2例の長期間観察

Two Cases of Atrioventricular Block With Syncope in Young Athletes, Where VVI Pacing Demonstrated Contrasting Effects

(心臓 2024;56(6):596-602)

【研究部門】



最優秀賞 (副賞10万円)

小林 美穂

社会医療法人 北海道循環器病院
臨床検査科

ATTR野生型心アミロイドーシス患者の長期的12誘導心電図四肢誘導R波高変化と心エコー図指標変化の関連

Long-Term Temporal Changes in R Wave Amplitude in Limb-Leads in Relation to Changes in Echocardiographic Indices in Patients With ATTR Wild Type Cardiac Amyloidosis

(心臓 2024;56(5):581-590)



優秀賞 (副賞5万円)

松元 一郎

KKR高松病院
心臓血管病センター循環器内科

高齢心血管疾患患者に対するうつ病スクリーニング検査の有用性－運動耐容能維持との関連－

Usefulness of Depression Screening Test for Maintaining Exercise Tolerance in Elderly Patients With Cardiovascular Disease

(心臓 2024;56(6):555-565)

救急・救助の現況(令和6年版)

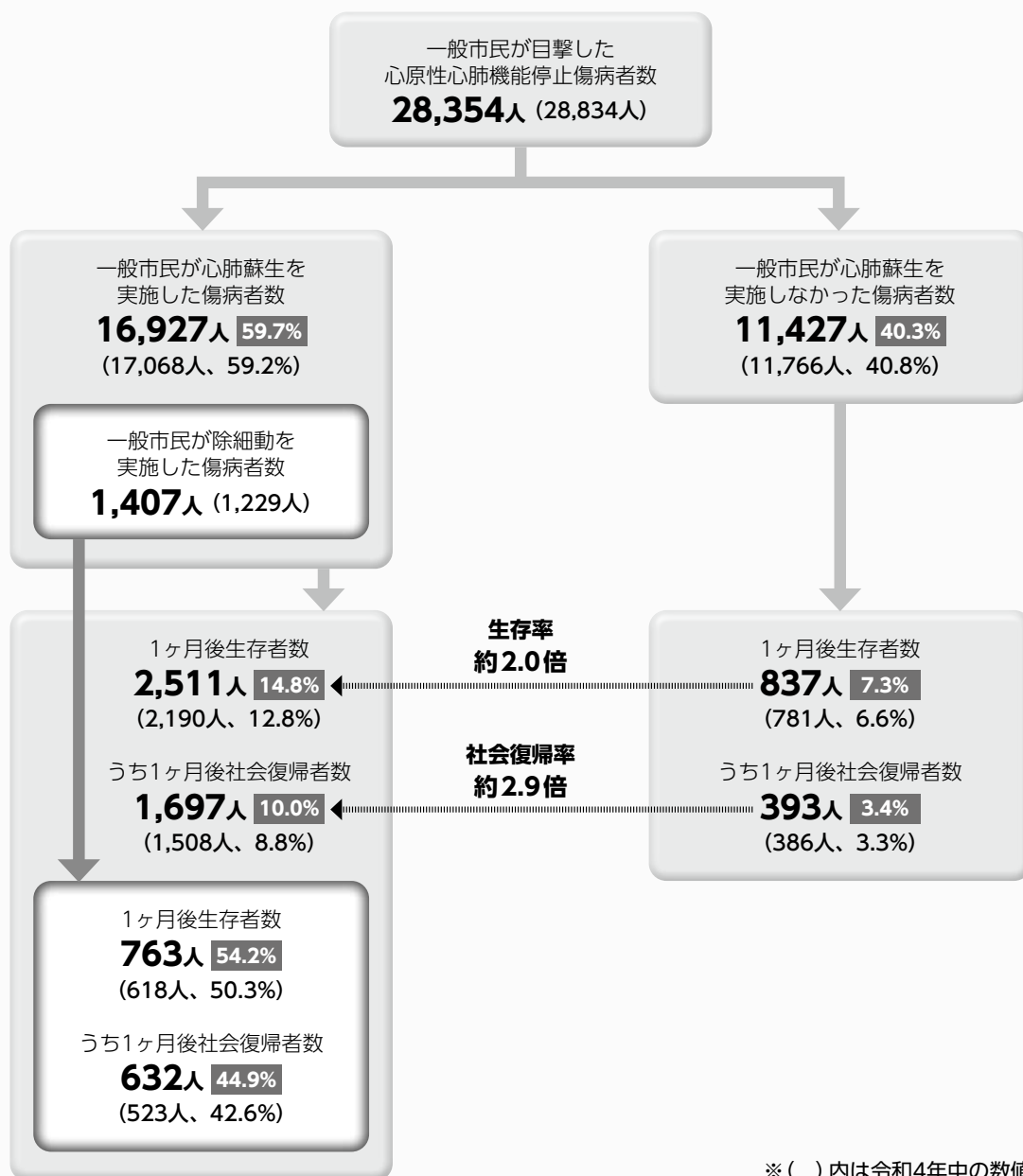
突然の心停止からの救命にはAEDによる迅速な電気ショックが不可欠です。日本で市民がAEDを使うことができるようになってから、20年が経過しました。多くの市民がAEDという言葉を知り、街中に多くのAEDを見かけるようになりました。

総務省消防庁の「救急・救助の現況」(令和6年度版)によれば、一般市民が目撃した心原性心停止(心臓が原因の心停止)28,354人のうち、16,927人(59.7%)に一般市民が心肺蘇生を実施しており、一般市民による心肺蘇生実施率は約6割となっています。しかしながら、一般市民がAEDを使って電気ショックが行われたのは1,407人と約5%でした。AEDによって電気ショックが行われれば、約半数の人(763人、54.2%)が救命できるのです。

一方、この図には記載されていませんが、別のデータでは、救急隊員が搬送したすべての心肺停止傷病者数(140,575人)のうち、一般市民によって15,984人(11.4%)にAEDのパッドが貼付され、うち2,214人に電気ショックが行われたと記載されており、一般市民が傷病者にAEDを使用した率は10%を超えています。AEDが現場近くにあれば、多くの人がAEDを使って救命する社会が近づいていると思われます。

もっともっと多くのケースにAEDが使用され、もっともっと多くの命が救われる社会を目指して、今後もさまざまな啓発活動を実施していきます。

一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち
一般市民による心肺蘇生等実施の有無別の生存率・社会復帰率(令和5年)



教室(医局)・病院(医院)・医師会賛助会員の皆様

日本心臓財団と日本循環器学会が共同発行している月刊誌「心臓」の発行と当財団の運営を支えていただいている賛助会員の皆様を感謝の意を表して掲載させていただきます。

教室(医局) 賛助会員

札幌医科大学循環器内科	東邦大学循環器内科	京都府立医科大学循環器・腎臓内科
北海道大学循環器内科	東邦大学医療センター大橋病院循環器内科	大阪医科薬科大学内科学Ⅲ
弘前大学循環器腎臓内科	日本医科大学循環器内科	大阪大学循環器内科
東北医科薬科大学循環器内科	日本医科大学多摩永山病院循環器内科	大阪大学臨床遺伝子治療学
東北大学循環器内科	日本大学循環器内科	関西医科大学循環器内科
秋田大学循環器内科	北里大学循環器内科	近畿大学奈良病院循環器内科
山形大学第一内科	昭和大学藤が丘病院循環器内科	奈良県立医科大学循環器内科
筑波大学循環器内科	聖マリアンナ医科大学循環器内科	神戸大学循環器内科
群馬大学循環器内科	東海大学循環器内科	神戸大学心臓血管外科
千葉大学循環器内科	横浜市立大学循環器内科	鳥取大学循環器内科
帝京大学ちば総合医療センター循環器内科	信州大学循環器内科	広島大学循環器内科
日本医科大学千葉北総病院循環器内科	新潟大学循環器内科	山口大学器官病態内科学
埼玉医科大学国際医療センター心臓内科	金沢医科大学循環器内科	香川大学循環器・腎臓・脳卒中内科
自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科	金沢大学循環器内科	愛媛大学循環器内科
獨協医科大学埼玉医療センター	金沢大学心臓血管外科	徳島大学循環器内科
杏林大学循環器内科	富山大学第二内科	高知大学老年病・循環器内科
慶應義塾大学循環器内科	福井大学循環器内科学	九州大学循環器内科
順天堂大学循環器内科	順天堂大学医学部附属静岡病院	久留米大学心臓血管内科
帝京大学循環器内科	浜松医科大学循環器内科	福岡大学心臓血管内科
東海大学医学部附属八王子病院	愛知医科大学循環器内科	佐賀大学循環器内科
東京科学大学循環器内科	名古屋市立大学循環器内科	長崎大学循環器内科
東京医科大学循環器内科	名古屋大学循環器内科	大分大学循環器内科
東京医科大学八王子医療センター循環器内科	藤田医科大学循環器内科	熊本大学循環器内科
東京慈恵会医科大学循環器内科	滋賀医科大学呼吸循環器内科	宮崎大学循環器内科
東京慈恵会医科大学葛飾医療センター循環器内科	三重大学循環器内科	鹿児島大学心臓血管内科
東京大学循環器内科	京都大学循環器内科	

病院(医院) 賛助会員

旭川リハビリテーション病院	虎の門病院	JR広島病院
木原循環器科内科医院	東大和病院	県立広島病院
札幌中央病院	武蔵野赤十字病院	東広島医療センター
札幌心臓血管クリニック	小田原循環器病院	済生会広島病院
札幌東徳洲会病院	横浜栄共済病院	福山循環器病院
札幌孝仁会記念病院	横浜南共済病院	さくらぎ循環器・内科クリニック
北海道社会事業協会帯広病院	済生会横浜市南部病院	美祢市立病院
本荘第一病院	抱生会丸の内病院	済生会今治病院
仙台厚生病院	金沢医療センター	今治第一病院
仙台循環器病センター	済生会富山病院	喜多医師会病院
三友堂病院	富山赤十字病院	市立宇和島病院
大原綜合病院	聖隷浜松病院	近森会近森病院
福島赤十字病院	トヨタ記念病院	春陽会うえむら病院
高安内科循環器科	澄心会名古屋ハートセンター	新小文字病院
国際医療福祉大学病院	藤田医科大学ばんだね病院	杉循環器内科病院
新小山市民病院	岐阜県総合医療センター	福岡記念病院
慶友会慶友整形外科病院	澄心会岐阜ハートセンター	福岡新水巻病院
博仁会第一病院	慈朋会澤田病院	福岡青洲会病院
千栄会高瀬クリニック	近江八幡市立総合医療センター	済生会福岡総合病院
鶴谷病院	伊勢赤十字病院	ヨコクラ病院
輝城会沼田脳神経外科循環器科病院	宇治病院	大分岡病院
蜂谷病院	京都桂病院	済生会熊本病院
東葛病院	ゆやまクリニック	都城市郡医師会病院
かわぐち心臓呼吸器病院	小松病院	鹿児島市医師会病院
関越病院	みどり病院	鹿児島生協病院
北里大学メディカルセンター	穀峰会吉田病院	翔南会翔南病院
埼玉県立循環器・呼吸器病センター	神戸市立医療センター中央市民病院	かりゆし会ハートライフ病院
さいたま市民医療センター	高清水高井病院	
深谷赤十字病院	健生会土庫病院	
板橋中央総合病院	公立那賀病院	
江戸川病院	新宮市立医療センター	
関東中央病院	誠佑記念病院	
榊原記念病院	倉敷中央病院	
聖路加国際病院心臓血管センター	しげい病院	

医師会賛助会員

日本医師会
東京都医師会
上尾市医師会
葛飾区医師会
藤岡多野医師会
前橋市医師会

法人賛助会員の皆様

日本心臓財団の事業の維持と発展にご協力いただいております法人賛助会員のご芳名を感謝の意を表して掲載させていただきます。

(五十音順)	株式会社SUMCO	様	日本心臓ペースメーカー友の会	様
株式会社アクセル	三栄メディシス株式会社	様	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	様
旭化成ゾールメディカル株式会社	株式会社ジェイエムエス	様	日本メドトロニック株式会社	様
アストラゼナカ株式会社	住友金属鉱山株式会社	様	日本ライフライン株式会社	様
アボットメディカルジャパン株式会社	株式会社世界貿易センタービルディング	様	パイエル薬品株式会社	様
アムジェン株式会社	ゼリア新薬工業株式会社	様	ファイザー株式会社	様
株式会社 池野商店	第一三共株式会社	様	株式会社5core	様
有限会社池野ビルメンテナンス	大正製薬株式会社	様	フクダ電子株式会社	様
エドワーズライフサイエンス株式会社	ダイナメディックジャパン株式会社	様	ブルーミング中西株式会社	様
エモーションリンク合同会社	大日本住友製薬株式会社	様	古河機械金属株式会社	様
オキシゲンアンドパートナーズ株式会社	中外製薬株式会社	様	ベストセクション株式会社	様
小野薬品工業株式会社	テルモ株式会社	様	ボストン・サイエンティフィック	様
オムロンヘルスケア株式会社	株式会社トイント	様	ジャパン株式会社	様
株式会社オルリンクス製薬	東京海上日動火災保険株式会社	様	株式会社マイベスト	様
カメラ買取市場	東邦亜鉛株式会社	様	三井金属鉱業株式会社	様
カリフォルニアくみ協会	株式会社東横イン	様	株式会社三井住友銀行	様
キヤノンメディカルシステムズ株式会社	トーアエイヨー株式会社	様	三菱電線工業株式会社	様
救心製薬株式会社	株式会社ナック	様	三菱マテリアル株式会社	様
株式会社協和企画	NISSHA株式会社	様	明治安田生命保険相互会社	様
キリンホールディングス株式会社	株式会社日清製粉グループ本社	様	持田製薬株式会社	様
クリックアンドペイ合同会社	日鉄鉱業株式会社	様	株式会社ヤガミ	様
株式会社グロースライフ	日本アビオメッド株式会社	様	株式会社RUNWAYS	様
ケンツメディコ株式会社	日本軽金属株式会社	様	合同会社VACCINE中央協会	様
興和株式会社	日本光電工業株式会社	様		

当財団をご支援くださる方

賛助会員として本年度にご支援をいただいた方々のご芳名を掲載させていただきます。(2024年11月～2025年2月)(五十音順)

臼田 和生 様 片見 初江 様 神原 啓文 様 斎藤 能彦 様 友池 仁暢 様 中川 正裕 様 長澤 一成 様
二宮 悠 様 長谷部 直幸 様 松井 義明・美恵子 様

当財団へご寄附をいただいた方

次の方々からご寄附を賜りました。感謝の意を表してご芳名を掲載させていただきます。(2024年11月～2025年2月)(五十音順)

小栗 華奈 様 梶原 誠 様 加藤 千恵 様 児玉 真悟 様 ■小さなハート ■セカンドオピニオン
佐藤 康之 様 関 博明 様 竹下 淳也 様 種田 様 阿部 裕行 様 関 文子 様
中西 信雄 様 藤嶋 加奈子 様 船山 高裕 様 山内 章三 様 内田 太二 様
山本 和子 様 若松 百合子 様 他 匿名9名 他 匿名1名

ご寄附のお願い

日本心臓財団は、循環器病を克服するため、研究助成、予防啓発、さらに循環器病に関する皆様からのメール相談などを行ってまいりました。今後もこのような活動を継続させていただけますよう、皆様からのご支援をお待ち申し上げております。何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

当財団は公益財団法人の認定を受けておりますので、当財団へのご寄附は税法上の優遇措置が適用され、所得税(個人)、法人税(法人)の控除が受けられます。

また、税額控除に係る証明を取得しておりますので、個人の方からのご寄附につきましては所得控除と税額控除のいずれか一方を選択いただくことができます。

■三井住友銀行 丸ノ内支店
普通 0801474

■三菱UFJ銀行 丸の内支店
普通 4025878

■ゆうちょ銀行
一般振替口座 00140-3-173597
(ゆうちょ銀行 ○一九(ゼロイチキョウ)店
当座 0173597)
口座名:公益財団法人 日本心臓財団
ザイ)ニホンシンソウザイダン